

わのう小 きく・はなす・かく

はなし

話をきくとき

1 ねんせい

- はなしをしている人にからだをむけ、目と耳でおわりまできく。
- さんせいのときは「おなじです」、はんたいのときは「ちがいます」といって はなしをきく。

はなし

話をするとき

- 手をあげて、なまえをよばれたら、「はい」と へんじをする。
- たって、みんなのほうをむいて はなす。
- みんなにきこえるような大きなこえで はなす。
- 「～です」「～ます」をつけてはなす。
- 「まず」「つぎに」「さいごに」のように、じゅんばんがわかるようにはなす。
- どうしてそうおもったのか「りゆうは、～だからです」と、わけをつけてはなす。

ぶんをかくとき

- よいしせい、正しいえんぴつのもちかたでかく。
- ぎょうやマスにあわせて、ていねいにかく。
- 「〇〇は、□□しました」のように、「だれが、どうした」をかく。
- 「まず」「つぎに」「さいごに」のように、じゅんばんがわかるように文をかく。

わのう小 きく・はなす・かく

はなし き 話を聴くとき

2年生

- ^め目と^{みみ}耳で ^{はなし}話を^き聴く。
- ^{はなし}話をしている人に ^{ひと} ^{からだ}体をむけて^き聴く。
- ^{はなし}話の^きおわりまで聴く。
- さんせいのときは「おなじです」、はんたいのときは「ちがいます」といって ^{はなし}話を^き聴く。

はなし 話をするとき

- みんなに聴こえる ^き ^{おお}大きな^{こえ}声で ^{はな}話す。
- 「～です」「～ます」をつけて ^{はな}話す。
- 「まず」「つぎに」「さいごに」のように ^{はな}じゅんばんがわかるように 話す。
- どうしてそうおもったのか ^{はな}「りゆうは、～だからです」とわけをつけて 話す。

ぶん 文をかくとき

- 「〇〇は、□□しました」のように、
「だれが、どうした」を ^か書く。
- 「まず」「つぎに」「さいごに」のように ^{ぶん} ^かじゅんばんがわかるように 文を書く。

和納小 聴く・話す・書く

話を聴くとき

3, 4年生

- 相手の話をうなずきながらきく。
- 自分の考えが、友だちの考えと「同じ」なのか「ちがう」のか「にている」のかをくらべながら聴く。

話をするとき

- 自分の立場をはっきりさせてから話す。
 - ・「〇〇さんにさん成（反対）です」
- 自分の考えに理由をつけて話す。
 - ・「りゆうは、〇〇だからです」
- 話が長くなるときは、「ここまでいいですか」などと、かくにんを取りながら区切って話す。

文を書くとき

- 自分が体験したことと、自分の気持ちを区別して書く。
- 自分の考えが正しく伝わるように、「すると」「でも」「さらに」などの文のつなぎ方を工夫する。

和納小 聞く・話す・書く

話を聴くとき

5 , 6年生

○話している人が、何を言おうとしているのか
分かれうとしながら話を聴く。

○自分の考えと友達の考えを比べながら聴く。

話をするとき

○自分の立場をはっきりさせてから話す。

- ・「〇〇さんに賛成（反対）です」

○考えの根拠や具体的な例を挙げて話す。

- ・「〇〇を見てください」

- ・「例えば～」

○今までにしたことや友達の考えとかかわらせながら話す。

- ・「〇〇のとき、□□しましたよね」

- ・「〇〇さんは、□□と言っていましたよね」

文を書くとき

○目的や意図に合わせて、「箇条書き」にする
など表現方法を工夫して書く。

○理由や根拠を挙げながら書く。

○自分の考えを分かりやすく伝えるために具体的な例を挙げて書く。

わのう小 きく・はなす・かく

はなしをきくとき

1 ねんせい
1 がっき

- めとみみではなしをきく。
- はなしをしているひとをみる。
- はなしのおわりまできく。



はなしをするとき

- てをあげる。なまえをよばれたら、「はい」とへんじをする。
- たってみみんなのほうをむいてはなす。
- みんなにきこえるようなおおきなこえではなす。
- 「～です」「～ます」をつけてはなす。

ぶんをかくとき

- よいしせい、ただしいえんぴつのもちかたでかく。
- ぎょうやマスにあわせて、ていねいにかく。
- 「○○は、□□しました」のように、「だれが、どうした」とかく。